

信州大学医学部附属病院 消化器外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年5月1日

「食道亜全摘出術中の ICG 蛍光法による胸管造影の安全性と有用性についての後方視的検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5116
研究課題名	食道亜全摘出術中の ICG 蛍光法による胸管造影の安全性と有用性についての後方視的検討
所属(診療科等)	消化器外科
研究責任者(職名)	得丸重夫(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年3月31日
研究の意義、目的	食道癌および食道胃接合部癌の手術における ICG 蛍光法の安全性と有用性を明らかにすることで、今後の食道癌および食道胃接合部癌手術患者さんへ有益な情報を提供できると考えられます。
対象となる方	2014年1月1日から2021年3月31日の期間に信州大学医学部附属病院(当院)で食道癌および食道胃接合部癌で胸腔鏡下食道亜全摘出術の医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	性別、年齢、身長、体重、体成分分析検査所見, 画像検査所見, 合併症、既往歴、現病歴、病理学的検査所見, 血液生化学検査値, 再発の有無(再発診断日), 生存の有無, 手術成績(手術時間, 出血量, 術後合併症など), 入院期間、追加治療の詳細など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、胸腔鏡下食道亜全摘出術における ICG 蛍光法による胸管造影の安全性と有効性を検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 消化器外科 助教 得丸 重夫 電話: 0263-37-2654

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。